

分野名	健康生体医学分野									
科目名	総合内科学（生活習慣病学）									
英文科目名	General Internal Medicine (Life-style Related Diseases)									
科目責任者	水田 秀一									
担当教員	研究指導教員 (実務経験等)	水田 秀一（医師・教育職）								
	専門科目担当教員 (実務経験等)									
代表的な研究課題	患者背景を網羅的に評価した上での治療法の開発									
	分子遺伝子的情報に応じた診断や治療への応用									
	悪性腫瘍におけるオーダーメイド治療法の開発									
学修目標	一般目標	内科領域全般における診療上の疑問や課題に対して様々な技術や手法を用いて解明していく先進的な臨床研究を展開する								
	行動目標 (DPとの関連)	科学的な診療アプローチが可能になるように分子遺伝学、臨床疫学、臨床薬理学、医療倫理学、医療社会学の習得を目指す。また全人的（身体的、精神・心理的、社会的）なアプローチが可能になるよう医療面接、カウンセリング、臨床心理学等の習得を目指す。						(DP1・2)		
		演習においては、臨床研究の推進に必要な試験デザイン、疫学研究、統計学的手法の基本を理解できる。						(DP2・3)		
		実験実習においては、臨床研究に必要な手技として、統計学的手法などの基礎を実践することができる。また医学論文執筆の基礎を実践することができる。						(DP3・4)		
	学位授与方針 (DP)	DP1：医学・生命科学全般にわたる幅広い学識と生涯にわたり自立して研究活動を継続する能力を有している。 DP2：高い倫理観と高度の専門知識を有し、最先端の医学研究を企画・立案して遂行する能力を有している。 DP3：独創的な学術論文を論理的、かつ明確に記述して公表し、国内外の学会において発表し討議する能力を有している。 DP4：科学的技能を活かして、地域医療から国際保健・医療まで医療全般の進歩に貢献し、次世代の研究者及び教育者の育成にも貢献する能力を有している。								
教科書	教科書は定めず、事前に資料を配付する									
準備学習	内容	疫学解析に統計学知識は必須であり下記書籍（または準ずる書籍）に目を通し解析法を勉強しておくこと。 『SPSSによる医学・歯学・薬学のための統計解析』石村貞夫／久保田基夫／謝承泰 東京図書、2016								
	時間	60分/1回の授業あたり								
課題に対するフィードバック	レポート等の課題を提出させた場合は、内容のチェック・添削を行い、本人へフィードバックして理解度のアップをめざす。									
評価方法等	評価方法	講義、実習への出席と課題レポートの提出、論文執筆などを通して総合的に評価する。								
	成績評価基準	評価配分：出席 50%、課題・レポート提出 30%、論文執筆 20% 教育要項22頁[成績評価・単位認定方法等]参照のこと								
	科目番号	講義	5031201	演習	5031202	実験実習	5031203	特別研究	50501051	
単位	4		4		4		6 (2-4年次で)			
	30コマ	60H	60コマ	120H	60コマ	120H	30コマ	60H		
開講時期	通年		通年		通年		通年			
配当年次	主科目とする場合	1または2年次		1または2年次		1または2年次		2-4年次		
	副科目とする場合	1, 2, 3年次		-		-		-		
選択/必修の別	主科目とする場合	必修		必修		必修		必修		
	副科目とする場合	選択		-		-		-		
時間割	区分	講義		演習		実験実習		特別研究		
	昼間	前期15週	月曜 4限目		金曜 4-5限目		火曜 4-5限目		月曜 5限目	
		後期15週	月曜 6限目		木曜 6-7限目		水曜 6-7限目		土曜 3限目	
	夜間	前期15週	月曜 6限目		木曜 6-7限目		水曜 6-7限目		土曜 3限目	
備考	授業時間の詳細は、21頁 [医学研究科における授業時間] を参照のこと。 上記の時間に参加できない場合は、担当教員と協議の上、具体的な時間割を決定する。									

担当教員		講義	演習	実験実習	特別研究
		水田 秀一 教授	水田 秀一 教授	水田 秀一 教授	水田 秀一 教授
授業内容		患者の身体的, 精神的状態が治療の選択や効果に及ぼす影響について, 最新の研究と今後の展望を講義する。患者の臓器機能や身体機能, 社会的背景を総合的に把握して全人的治療ができるように講義をする。21世紀の医療現場で求められる資質として標準的な診療計画, 多職種によるチーム医療, 保険診療・医療経済について学ぶ。地域医療の最前線にいる実地医家から診療における問題点を講義していただく。	患者の身体的, 精神的, 社会的背景をどのように評価して適切な治療を行うかを文献やガイドラインから学ぶ。PBL形式で適切な患者の身体的, 精神的な評価が適切にできるような演習を行う。現場で実践されている医療としてクリニカルパス, PFM, 退院支援についての病棟におけるケースカンファレンス, リハビリカンファレンス, 退院カンファレンスなどへの参加して学ぶ。	学内外の各分野の専門家との共同研究を通じて適切な研究計画の立案, 実施, 解析, 解釈を行う。患者の遺伝子多型情報に応じたテーラーメイド治療に関する研究。診断や治療が困難な疾患に対して新たな分子遺伝学検査や3D-CTなどの新規画像技術などを用いたアプローチなどの研究を行う。	造血器腫瘍における患者の身体的, 精神的, 社会的背景を網羅的に評価した実践的治療モデルの構築
授業場所		医学教育棟6階 共用カンファレンスルーム	医学教育棟6階 総合内科学医局	医学教育棟6階 総合内科学研究室	医学教育棟6階 総合内科学
授業計画 (イントラネットに掲載)	講義	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5031201.pdf			
	演習	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5031202.pdf			
	実験実習	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5031203.pdf			
資格取得などのキャリアパス		特になし			
研究指導教員の実務経験		医師			
履修上の注意事項		<p>①質問の受付は, 随時行う。</p> <p>②特別な配慮を必要とする場合は, 事前に担当教員に相談すること。</p> <p>③履修科目届にて履修希望を届け出し, 履修年度の2月に, 授業科目履修報告書にて, 成績を報告することにより, 修了要件の単位として認定される。</p> <p>④履修報告の際には, 履修した科目ごとに「授業方法改善のためのアンケート」を提出すること。</p>			
オフィスアワー		水田 秀一 教授 (医学教育棟6階 総合内科学 教授室 (事前にメールでの照会必須)) e-mail general[at]kanazawa-med.ac.jp [at]→@			